

オリーブの会通信

2012年5月8日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0078 高松市今里町一丁目 499-2
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



第119回月例会ご案内

日 時	2012年5月27日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 研修室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30~13:40 報告・連絡 ・運営委員会の報告他(川井) 13:40~14:10 ビデオ学習 「大人の発達障害」(予定) 14:15~15:00 体験談 「農園を小規模作業所に拡充」 —高知県の助成を受けて— ☆KHJ高知やいろ鳥の会 副会長 坂本勲 氏の体験談が中止となり、 <u>グループ別話し合いに変更させていただきます。</u> 15:00~15:15 休憩 15:15~16:30 「父親の集い」 ・ご家族も一緒にご参加ください。
参加費	・会員 1家族 1,000円 ・非会員 1家族 1,500円

通常総会（4月22日（日））も終了し、新年度の方針等が決定され活動がスタートしました。当日は10時からと総会後の14時30分から行われる「親の学習会」講師として全国引きこもりKHJ親の会代表 池田佳世氏をご多忙にも関わらず早朝よりご来高下さいました。（役員の方々には、それぞれ当日の役割を分担いただき有難うございました。また、東條様には珍しいお花を飾っていただき有難うございました。）

昨年度から会員の方々にも全員参加型の会運営ということで協力をお願いし、また関係機関、KHJ本部・支部等のご指導ご支援を受け、子どもの社会参加・自立を目指して自分たちが出来ることに取り組んでまいりました。

月例会では同じような悩みをもつ者が、対等な立場でお互いに話をする事で悩みを和らげたり、仲間から理解されサポートされていると感じたり、また当事者にとっては居場所で行われているおしゃべり会がピアカウンセリングではないかと思っています。

それまでの生き方の行き詰まり・理由の分からない不安等を抱える当事者にとっては、人と繋がりが持てる場所が多ければ多いほど、社会体験をしながら現実を受け入れることも出来るようになり、社会との繋がりが取り戻せるようにと、また、家から出られない子には訪問支援（第三者・精神科医等）等が受けられるよう、一歩でも前進出来ればと願っています。

（川井）

【4月例会・通常総会（4/22）の報告】（概略）

◇通常総会について

提案の議案は全て原案通り承認可決されました。役員については本総会をもって堀井 讓理事が退任され、新体制は理事5名、監事1名の6名ということになりました。堀井氏は2004年度より副会長として、またNPO法人化後は理事としてご尽力いただきましたこと心からお礼申し上げます。当会としてもかけがえのない存在でありますので、今年度より運営委員としてご協力をお願いしたところ、快くお引き受けくださり心強く思っている次第です。

— 総会についての詳細は「2012年度通常総会資料」（会員のみ同封）の通り。—

◇親の学習会

テーマ「自立とは」

全国引きこもりKHJ親の会代表
講師：池田佳世氏

1. 自立と孤立の違い

一人で自立すると孤立してしまう

<関係を取る>

- 学校で習っている自立は理論で、実際の場面の自立は分かっていない。
- 自立が分かっていないから、学校を卒業して仕事に就くがすぐやめる。
- 抜けているのは人と関係を取るということ。
- 「人間」は人の間と書く。関係を取ることがいかに大事か教えていない。
関係を取るためには言葉が言えないといけない。
- ひきこもりの子は誰にも聞かない。何か言われるのを待っている。
- ひきこもりの人は人に会いたい。話したいが怖くて会えない。
自分がやりたいことができないと病気になる。
- 甘えることができない。助けてと言えない。
- 自立とは、みんなと一緒に立つ、何かすることだと思う。

2. 思春期の成長過程の最後の課題（レジュメ）

- (1) 仮面（見せかけ）のものから離れる
- (2) “べき” から離れる
- (3) 期待に沿うということをしなくなる
- (4) 他者を喜ばすということから離れる
- (5) 自己の方向に向かって自発的に、自分に責任を持ち自分が決定する
- (6) 過程的な存在に向かう
一個の存在している個人は常に生成の過程のうちにある
- (7) 複雑さに向かって
変化していく自己が複雑な様相を示す方向に向かって
- (8) 経験に対して開かれるようになる
マズロー 自己実現した人々は繰り返し繰り返し新鮮に、そして素朴と畏怖や喜びや驚きや法悦さえも備えた生命の基本的素質を感得できるすばらしい力を持っている
- (9) 他者を受け入れるようになる
他者への受客的な態度
- (10) 自己を信頼するようになる
自分を信頼し、自分の中に見出した価値によって生き、独自の方法で表現するようになる。創造的になるーアインシュタイン ヘミングウェイ



4月22日月例会開始前の午前10時から2時間あまり居場所にて全国引きこもりKHJ親の会代表 池田佳世氏による学習会を開催。参加者の相談の一部から。

Q：気にいらないと親に乱暴な言葉をはく。友達がいらない。(30代男性)

A：家族関係の再生。(親子の信頼関係・母親の子への理解)

無条件の肯定的関心。(人との関係をつくっていく)

Q: 人間関係がへたである。家の片付けができない。(30代別居女性)

A: 他人を入れて本人が解決する力を付けていく。

その時その時で受容する。(親は聞くだけ)

Q: 生まれてこない方がよかったという。(30代女性)

A: 本人は受け入れてもらえていない思いがある。(スリこまれている)

以 上

【5月居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第1回運営委員会	6	日	13:30~	川井
個人カウンセリング(松田先生)	12	土	9:00~	加藤
ポパイの会 パソコン教室	13	日	13:30~	森下

【6月居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第2回運営委員会	3	日	13:30~	川井
個人カウンセリング(松田先生)	9	土	9:00~	川井
ポパイの会 パソコン教室	24	日	13:30~	森下

法人化4周年記念講演会

日 時	2012年6月17日(日) 13:30~16:30(受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 7階 第二中会議室
内 容	<p>一部 講演</p> <p>テーマー親の対応を学ぶー「危機をチャンスにするには」 「国のひきこもり施策の動向」について</p> <p>講師 池田 佳世 氏</p> <p>NPO 法人全国引きこもり KHJ 親の会(家族会連合会) 代表 (一般社団法人) SCS カウンセリング研究所 代表</p> <p>二部 講演</p> <p>テーマ「ひきこもりと生活機能の現状と 必要な支援」について</p> <p>講師 境 泉洋 氏</p> <p>徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 研究部 准教授</p>
担 当 G	Aグループ

【年会費払込のお願い】

年会費の「払込票」は今回の案内状（5月例会）に同封しておりますので、会費の支払（払込）についてどうぞよろしくお願いいたします。

なお、4月例会に参加された皆様はじめ既に早期の年会費支払をいただいた方々、有難うございました。

年会費は

- ① 正会員 個人 1口 4,000円 1口以上
- ② 賛助会員 個人 1口 2,000円 1口以上（理解ある知り合いの方などに、支援の呼びかけをお願いいたします。）
- 団体 1口 3,000円 1口以上（理解ある知り合いの事業所などに支援の呼びかけをお願いいたします。）

なお、年会費とは別にご寄付につきましては、いつでも受け付けております。

☆会費の値上げ分1000円（本部の経費等をKHJ会員がそれぞれ負担する）については、以前お願い致しましたが、今総会で承認決定がなされましたので、今回から正会員の会費を1,000円値上げし4,000円とさせていただきます。（総会において説明済みですが、昨年度は1,000円を寄付として徴収させていただきました。）



○ふれあい広場「TOMO」の開所式が開催されました。

前月号でもお知らせいたしました、当会の会員である泉氏が管理者をされている社会福祉法人「なかまの里福社会」が4月より「ふれあい広場 —TOMO—」で宅配弁当事業と喫茶店事業を開始していますが、4月29日・30日の両日「オープンニングフェア」を開催しました。

初日には多数の関係者をお迎えしての開所式典が行われた後、各種グループによる祝賀記念演奏会や東日本大震災の被災地産品、並びに地元産品などの販売コーナーには近隣の住民はじめ推定300人以上の方々が来所されました。オリーブの会からも里さん、東條さんが両日とも店頭の応援でお働きされたほか、川井理事長はじめ多数のオリーブの会会員が顔を見せられました。

当事者の中にはこの事業について関心をもたれる方々がおられ当日も数名が顔を見せられました。泉氏がオリーブの会当事者にとっての働き場所になることを願って始められた事業ですので是非、現地に足を運びご覧くださることをお勧めします。

- ・場 所：高松市国分寺町新名 743-1 番地
- ・照会先：携帯 090-1327-1604（泉さん）

以 上